

12月定例会の あらまし

市議会第4回定例会は、平成14年12月4日～20日の17日間開催されました。

本会議では第3回定例会（9月）で継続審査となっていた平成13年度一般会計・特別会計などの決算を認定したほか、平成14年度各会計の補正予算、条例の制定・改正などについて審議しました。

13年度各会計決算を認定

平成14年12月4日の本会議で、平成13年度一般会計と各特別会計決算について、一般会計および企業会計等の両決算審査特別委員会委員長から審査結果の報告を受けました。採決の結果、一般会計および国民健康保険特別会計の2件については賛成多数で、その他の特別会計・企業会計についてはい

れも全員賛成で認定しました。

一般会計の決算概要は、歳入総額404億220万円、歳出総額402億5,289万円で、歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支額は1億4,931万円の黒字でしたが、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引くと7,113万円の黒字となっています。期末手当（いわゆるボーナス）などの人件費が減少しましたが、不況による市税収入の33%の減少により市の財政構造の弾力化を示す経常収支比率が97・5%となり、前年度より悪化しました。また、特別会計のうち、国民健康保険特別会計では、現下の厳しい経済情勢を反映して収納率が昨年度より0・37%下降しましたが、一般会計からの繰入金的大幅な増額などにより単年度収支は118万円の黒字となりました。しかし、累積赤字は7億2,882万円あり、国保事業の健全な運営のため、また、受益者負担公平の原則からして収納率向上になお一層の努力が望まれます。

*経常収支比率

通常都市において70～80%が適正な水準といわれ、この比率が高くなるほど経常余剰財源が少なく硬直化している。



楽しい給食、準備も自分達で（住道北小）

補正予算、まちづくり・教育に

一般会計総額4億6,637万円の補正予算を賛成多数で可決しました。その主なものは

- ・深野北御供田線整備事業および南郷公園新設事業のために土地開発公社から用地買い戻し費用として合わせて4億1,953万円
- ・ヘルパー派遣の増加により身体障害者ホームヘルプサービス事業に

- ……2,164万円
- ・児童手当などの受給者の増加による給付費に……1,722万円
- ・市税滞納整理システム購入費に……2,100万円
- ……などが計上されています。

また、翌年度以降にわたる支出予定額に伴う債務負担行為の補正として

- ・中学校に新JIS規格対応の机・椅子の入れ替えに……1,476万円
- ・三箇小学校の児童増加による軽量鉄骨製仮設4教室の増設に……5,828万円

- ・15年度給食調理業務の民間委託実施予定の灰塚小学校および氷野小学校の請負業務委託料に……5,120万円
- ……などが計上されています。

（金額は1万円未満四捨五入）



児童に関する相談・申請が増えています

給与改定・早期退職特例で 約9億7,890万円の減

今日の地方自治体を取り巻く財政環境は厳しいものがあります。平成14年6月に制定された「緊急財政健全化対策」の一環として、また、国の人事院勧告に基づき、2つの関係条例の制定と一部改正を全員賛成で可決しました。

整備が待たれる南郷公園



『北朝鮮による拉致問題の徹底説明を求める決議』を可決

12月議会では、次の決議が全会一致で可決され、
その実現を求め関係機関に送付しました。
(送付先 内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、
衆議院議長、参議院議長)

北朝鮮による拉致問題の徹底説明を求める決議

北朝鮮による日本人拉致問題は、北朝鮮による我が国の主権を侵害した国家犯罪であるとともに、人道に反する犯罪でもある。長い間、北朝鮮が頑強に否定し、闇に葬ろうとしてきたこの国家犯罪も、小泉首相の訪朝により、北朝鮮の最高権力者である金正日国防委員長がその犯罪行為を認め謝罪したことは、この拉致問題の解決に一定の前進をもたらすものとして評価されよう。しかしながら、こうした謝罪の言葉とは裏腹に“拉致問題は解決済み”という北朝鮮側の見解に我々は強く抗議するとともに、北朝鮮側が提供してきた「死亡した」とされる拉致被害者に関する資料の杜撰さに、改めて憤りを感じざるを得ない。

今般、生存が確認された拉致被害者5名が24年ぶりに祖国の地を踏み、家族や故郷の旧知の友人たちと再会を果たすことができたが、24年という長きにわたって、一般市民を無法に拉致・拘束し、最愛の家族にさえ一切の消息を知らせないできた北朝鮮の非人道性に改めて慄然とせざるを得ない。

我々は、改めて北朝鮮に対し強く抗議するとともに、政府のこれまでの拉致問題への取り組みに対しても遺憾の意を表するものである。

日朝国交正常化は重大な懸案ではあるが、拉致問題という重大犯罪の解明と解決なしにはあり得ないことを、政府は肝に命ずるべきである。

よって、大東市議会は、北朝鮮に対し言葉による謝罪に止まらず誠意と責任ある対応を求めるとともに、政府に対し、以下の事項について、拉致被害者及びその家族の意向を体した対応を強く求めるものである。

- 1、北朝鮮に残された家族の帰国を早期に実現すること。
- 2、「死亡した」とされ、生存が確認されていない拉致被害者に関する正確な情報と現地調査を北朝鮮に求めるとともに、拉致の疑いが指摘されている他の事件についても徹底的な調査と解明を北朝鮮に求めること。
- 3、拉致は北朝鮮による国家犯罪であり、被害者の人権と人生の大半を犠牲にさせたことに対し、北朝鮮による国家補償を求めること。
- 4、拉致被害者及びその家族に対し、特別立法も含め、我が国政府による手厚い支援を行うこと。
- 5、北朝鮮に対し、核開発の即時停止及び生物兵器の撤廃と工作船等による違法な情報収集を直ちに止めるよう求めること。

以上、決議する。

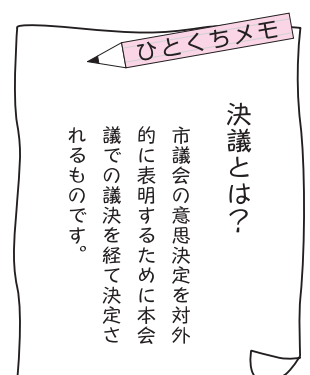
平成14年12月20日

大 東 市 議 会

1つ目は、職員の基本給と職員や市長・議員などの特別職の期末手当(いわゆるボーナス)を減額し、また、職員の定期昇給の停止年齢を引き下げるための条例改正です。主な改正内容は、15年度以降の期末手当を年間で0・05カ月分減額するものです。これにより職員、市長・議員など合わせて年間6

491万円の減額となります。また、職員の定期昇給停止年齢を2歳引き下げるにより、今後5年間で約7,000万円の減額を見込んでいます。2つ目は、早期退職職員に支給する退職手当の額の臨時特例に関する条例の制定です。この条例は、退職手当を割り増しすることにより、高齢職員の

退職を促し、組織の活性化と職員が早期に退職することによる人件費総額の削減を目的としています。人数は17人程度を見込んでおり、52～59歳の各年齢層から均等に希望があったとすれば、約8億4,400万円の人件費が減額できる計算です。



一般質問



交通事情の改善について

三ツ川武議員（無会派）

問

住道北小学校前の道路の安全対策について答えてください。

答

市道三住扇町線は、大阪府公安委員会の権限で車両通行の時間帯規制を行っていますが、交通量が非常に多いので、歩車道分離ができていないので、歩行者への安全対策が強く求められてきました。これまで四条巖警察と協力しながら、通行規制の看板や路面表示を設置してきましたが、路側線や電柱の位置の見直しも含めて、検討する考えです。

?

住道駅南側道路の供用開始が遅れているのはなぜですか。



車の交通量が多い三住扇町線

!

開通条件が整った区間から順次供用を開始しており、残る区間は、駅前交通広場の一部を車が転回できるように整備して平成14年度中に開通させる予定です。公園予定地東側の新町1号線は、一部未買収のため供用開始できませんが、引き続き権利者に協力を求め、駅前交通広場の残り部分とあわせて早期に全面開通できるよう努力します。

御供田新橋の仮橋の架け替えについて

山元 学議員（公明党議員団）

問

平成14年3月および9月議会で、御供田新橋の仮橋は撤去ではなく、架け替えをすべきであると提言してきました。地元住民の要望が尊重され、撤去から架け替えへと変わり、また橋の幅員も当初より広く変更されました。そこでお尋ねします。

答

工事の日程はどうなっていますか。現在、大阪府で詳細に設計中であり、平成15年3月頃に着手し、同年11月頃には完成予定と聞いています。工事中の付近住民の交通安全対策や市道との整合性はとれていますか。工事の前に案内ビラなどを配布し、地元住民へ周知徹底を図り、現場には迂

?

回路の案内板やガードマンの配置などにより、歩行者や自転車等を安全に誘導し、通行の安全対策が講じられるよう強く府に要望していきます。完成後は本市が管理することになるので府と覚書などを取り交わし、市道との取り付けの整合性に支障が起きないよう取り計らう予定です。

!

橋の名称については、「久太郎新橋」や「古堤街道橋」など、地元の伝統や歴史を生かしたものになるように、地元に一任できませんか。地元の意向が十分反映できるよう、府と協議していきます。

CATVの導入を

中野正明議員（新清新会）

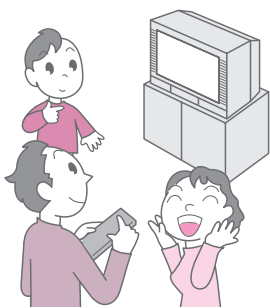
問

本市域で、平成15年秋から、民間事業者によるケーブルテレビ（以下「CATV」）開始が計画されていますが、行政・防災情報、地域産業情報などが提供できるコミュニティチャンネルを設置する考えはありませんか。

答

市民文化の向上に益することであれば、市が協力できる範囲で協力すべきと考えています。本市の近隣では、東大阪市が第3セクター方式で、守口市と門真市が民間事業者でCATVを導入し

ていますが、守口市・門真市ともコミュニティチャンネルを早急に設置する考えはないようです。広報媒体として利用するためには、高い普及率でなければメリットがないので、将来、市民にとってプラスになるかどうか十分検討し、余分な負担にならない範囲で対応していきます。



多重債務対策を

松浦恭子議員（日本共産党議員団）

問

多重債務に関する相談件数が増えています。被害者救済のための行政窓口の充実を考えるべきではありませんか。また、事後の生活支援策が必要ではありませんか。

答

本市で実施している法律相談の総件数848件のうち金銭貸借関係は219件、26%で相談件数の第1位です。金融相談を含めた市民相談は、広報広聴課が窓口となり、法律的解決を図るべ

きものは法律相談で、緊急を要するものは府の消費者金融相談窓口を紹介し、早期解決に努力しています。

多重債務に苦しむ市民が増えていることから、現行相談制度を効果的に運用するとともに、平成13年度に府の相談員が行った「サラ金なんでも相談」を引き続き実施できるよう要望します。また職員も、ある程度の専門的な相談に乗れるよう、研修・研鑽を行います。各部門の連携についても、今後研究、検討を重ねていきます。

また、生活保護の観点から多重債務に起因して心身の傷病を併発し、生活を支えることが困難な場合は相談に応じています。子どもへのケアについては、内容によってそれぞれの担当課で対応しています。

都市整備などについて

松下 孝議員（無会派）

問

本市は府下でもひったくりが多いといわれています。寝屋川堤防敷東側・西側（住道大橋・深野北間）へ、防犯灯を設置してはどうですか。

答

東側は大阪府の担当であるため申し入れたところ、平成14年度に4基、15年度に4基設置されることになりました。西側は市の管理なので、必要であれば増設を検討します。

？

南津の辺町16番10号（JRR片町線・深野墓地付近）の水路を埋め立て、公園的広場などに利用することはできませんか。

！

埋め立てについては、平成16年度17年度の実現に向けて努力していきます。

？

デフレの進行や人口減、若年者層の減少、高齢者の増加などによって、本市の税収はどのように変動しますか。本市税収の95%を占める固定資産税と都市計画税、個人市民税・法人市民税のいずれも、過去4年間減収ですが、今後も増収に転じる可能性は低いと考えます。

？

増収が期待できないとすれば、パート職員や人材派遣職員の導入を含めて、職員数を見直してはどうですか。情勢の変化を見守りながら、現在143人の職員を平成25年には869人（正職員800人、再任用職員など69人）まで減らしたいと考えています。

！



埋め立て予定の水路

ひったくりなどの

犯罪防止について

中河 昭議員（新清新会）

問

平成12年に四条囃警察で「ひったくり防止特別捜査班」が設置され、ひ

答

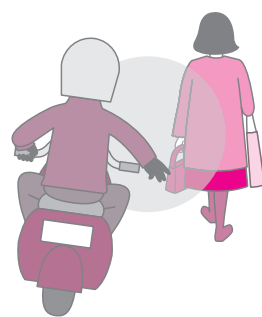
たくり検挙を重点課題として撲滅作戦が実施されましたが、その後、犯罪状況はどのようになっていますか。四条囃警察では、平成14年1月に街頭犯罪対策室を設置し、路上強盗・自動車盗・ひったくりなどの犯罪に限定した捜査・検挙体制が強化されており、ひったくり・車上狙いともに減少するようさらに努めていきます。

？

「交番連絡協議会」のなかで議論されたことが、地域住民に反映されていません。危険防止、安全対策についてもっと啓発し、警察と地域住民が一体となつて犯罪防止に努めるべきではありませんか。

！

身近な犯罪、事故、災害の未然防止、犯罪などによる被害の拡大防止、被害の回復と的確な検挙活動を図るため、委嘱された5、6人の市民と四条囃警察地域課職員・交番勤務員とが会合を行い、地域住民の意見や要望を把握し、警察運営に反映させ、地域安全情報を提供するなどして、警察と住民が相互に協力し、安全で平穏な地域社会の実現を図るため努力されています。



コミュニティバスを

もっと便利に

松原 進議員（公明党議員団）

問

これまでの利用実績と、今後の課題について教えてください。

答

2コースを運行していますが、「三箇方面シャトル型」コースについては、地域に密着した交通機関として定着しつつあり、乗客数は毎月6,000人以上になり、安定した運賃収入も期待できます。一方の「公共施設循環型」コースは、毎月200人前後の乗客数で、要望と利用実態とが大きくかけ離れた結果になっているので、見直す考えです。

？

コミュニティバスの基本的な考え方や見直し案はどうなっていますか。

！

基本的な考え方として、高齢者や障害者に配慮しつつ、より多くの市民が利用できる、地域に密着した市民交通をめざします。見直しの計画立案にあたっては、時刻どおりの運行が可能で、



利用客が少ない公共施設循環型コース

積極的な産業振興策を

古崎 勉議員（日本共産党議員団）

乗客数も見込める地域、交通不便地域であることを前提として、平成15年4月から運行コースの変更を考えています。具体的には、住道駅の南側から、東は御供田・泉町・平野屋地区を経て南新田を周回し、住道駅に戻り、次に西へ朋来地区を周回し、灰塚地区住民の利便性も考慮したコースの組み合わせで、「8の字型」に循環するコースを考えています。

問

平成13年度以降、産業振興に向けて産・官・学が連携し、10のプロジェクトを推進していますが、進捗状況を教えてください。

答

ビジネスプロモーターによるビジネスマッチング活動は、訪問企業が137社、マッチングできた件数は21件におよんでいます。また、大東市研究開発創業促進奨励金制度により、3社4事業が大阪産業大学との共同研究を進める運びとなっています。市内300社の企業データを収集し、大東市ものづくり企業支援データベースを平成15年2月に開設する予定です。そして、地域に密着した起業家を育成するため、15年度に大東市内にインキュベーターを立ち上げるため、具体的作業を進めています。

？

公的支援策の一環としての緊急融資を創設する考えはありませんか。

！

融資は、国や都道府県に負つところが

？

大きいと考えます。市町村の融資は、銀行の貸し渋りやリスク、財政面からみても、事実上難しいと考えています。

産業集積の基盤強化、市民生活と産業が共存するまちづくりがうたわれている八尾市のような中小企業地域経済振興条例を、本市でも制定すべきではありませんか。

さまざまな意見や活動を参考にしながら、本市の実情に照らし合わせ、中小企業支援策のあり方、その手法を検討していきます。

歴史と文化が薫るまちづくりを

豊芦勝子議員（日本共産党議員団）

問

高野街道と古堤街道を本市の歴史シンボルとしてアピールしてはどうですか。また、文化財表示板を設置してはどうですか。

答

市のホームページには一部を表記していますが、街道に焦点をしばつたものではありません。ホームページの充実や、発信のスタイルについてよく検討します。また、歴史民俗資料館発行の「文化財分布地図」や「埋蔵文化財分布図」には、街道と道筋の文化財の所在地が表記されていますので、この資料も普及させていきます。表示板は、調査したうえで対応策を考えます。

？

遊水都市を進めてきた市として、川を通じてまちづくりについて今後の考えを示してください。

！

国の「都市再生プロジェクト第3次決

定」（平成13年12月）で、水環境系再生構想の策定が位置づけられ、14年2月に寝屋川流域がモデル流域に決まりました。現在「寝屋川流域水環境系再生構想検討委員会」では、14年度末の構想策定に向け、検討が重ねられていますので、本市として検討します。

？

御供田新橋の仮橋は、地元の要望どおり架け替えられますが、歴史をつなぐような名称を考えてはどうですか。地元の意見を聞いて事業主体である大阪府と協議していきます。

！

天板がひとまわり大きくなった
新JIS規格の机（手前）



教育施設の充実を

岩淵 弘議員（大東21議員団）

問

平成12年度から順次取り組んでいる、小中学校の新JIS規格の机・椅子の整備を、教育の公平性を考えると全校一斉に整備できませんか。

答

机と椅子の整備は、JISを国際標準化機構（ISO）に合わせる 総

障害者支援費制度

および施設支援の充実を

千秋昌弘議員（日本共産党議員団）

問

措置制度から障害者本人と施設が契約を交わす制度に変わりますが、情報提供や相談援助など、細やかな支援体制が必要ではありませんか。

答

市は利用者の利便を損なうことのないように、情報提供だけでなく、事業者と利用者との間に立つて、サービス提供の斡旋や調整などを行います。

？

利用できる施設やサービス充実の方向について答えてください。

！

民間事業者に対して施設の整備を働きかけ、状況に応じては「大東市中心身障害者福祉施設整備等補助金交付要綱」での対応が可能を検討します。

また、居宅生活支援サービス充実のため、市内事業者の事業者指定取得についていっそう働きかけていきます。

？

国は、無認可福祉共同作業所を「小

規模通所授産施設」に法人化するよう指導していますが、1,000万円必要です。他市にならって基本財産補助、会計実務補助を実施してはどうですか。

！ 助成を行っている市を参考にしながら、必要性を含め検討中です。また、認可施設には最重度加算制度を、無認可作業所には家賃補助制度の準用が考えられますが、送迎補助については、今後の検討課題とします。

放課後児童クラブの充実を

澤田貞良議員（大東21議員団）

問 放課後児童クラブの入所数が増加し、定員オーバーになることが予想されます。どう対処する考えですか。

答 放課後児童クラブは、保護者の仕事と子育ての両立支援として、児童の健全育成を図るためのもので、希望者が全員入所できるようにすべきだと考えています。それには、余裕教室を確保することが不可欠と考えていますが、当面は定員の弾力化を図りながら待機児の解消に努めます。

？ 入所希望者がクラブを選択するようにはできませんか。

！ 待機児解消の施策のひとつとして、希望する児童クラブに申し込めるよう、実施要綱改正の検討を行います。

？ 今後、入所児童がもっと増えることが予想されます。費用や場所のことを考えると、地元自治会やボランティア、NPOなどの力を借りての運営を図ってはどうか。

！ 放課後児童クラブは、平成11年に創設して以来、大東市社会福祉協議会に運営を委託し、児童の育成・指導、遊びによる発達の助成などを行っています。今後は、学校、家庭、地域社会と連携を図り、NPO、各種団体からの支援も視野に入れて検討します。



入所希望が多い放課後児童クラブ（南郷小）

魅力あるまちづくりを

寺坂修一議員（公明党議員団）

問 住道駅南側のマンション建設時に、生涯学習センター、女性センター、商工会議所などを設置できませんか。

！ 市民の交流拠点として、にぎわいの拠点として発展させていくために、民間施設と公共施設の共存は必要と考えます。市民ニーズ、本市の公共施設計画、財政状況を考えあわせ、市民文化・交流機能をもった公共施設の設置を、早急かつ具体的に計画していきます。

？ 温泉を活用して、まちを活性化することはできませんか。



整備が進む住道駅南側、空き地は高層住宅用地

！ ことはできませんか。

！ 高度経済成長期に地下水の汲み上げを行った結果、地盤沈下を招き、これが大東水害の一因でもありました。そこで、昭和56年に環境保全条例を制定し、地下水の採取規制をしています。当分の間、現行の規制を継続のうえ、推移を見守っていきますが、まちづくりの視点で議論を重ねていく必要があると考えます。

？ 民間で計画中の24時間小児病院建設に対してどう考えていますか。

！ 第4次医療法改正（平成12年12月）で基準病床数の算定が見直されると、北河内医療圏は病床不足地域となり、病院の新設・増設が可能です。民間病院が小児医療の開設を希望する場合は、地元医師会にその必要性を理解してもらったための調整役として、仲介的な支援を行っていく考えです。

男女共同参画社会の推進を

内海久子議員（公明党議員団）

問 「With Youプラン」（以下「プラン」）の見直しは進んでいますか。また、男女共同参画社会を推進するための条例を制定する考えはありますか。

答 「プラン」の基本理念である「性差別の解消と住みよい男女協働社会の実現」を踏まえたうえで新たに「女性への暴力防止」「政策決定への共同参画の生活支援」「女性の職業生活、家庭と地域生活の両立支援などを重点課題として見直す考えです。「懇話会」を設置して、平成15年度中に「プラン」改定を行います。また、条例制定は懇話会のなかで議論されるものと考えており、研究していきます。

？ 男女協働ルームの利用状況はどうなっていますか。また設備の充実について検討していますか。

！ 男女共同参加の視点でグループ活動を支援しながら、有効な利用を促していく考えです。設備については、利用者の意見を聞いて、検討していきます。

？ 女性センター設置に向けて、どのように検討していますか。

！ 男女共同参画社会形成の拠点の役割を果たせるよう、男女協働ルームの充実を図っていきます。同時に、「プラン」見直しのなかで、女性センターについての共通認識が深まるよう研究・検討していきます。

	選挙案件	
	条例の制定	
国・県・市・町・村の施設・事業	条例の一部改正	
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり	その他	
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり	決議・意見書	
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり	請願	
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		
●香取市立総合体育館 ●介護施設 ●水辺のまちづくり		

一般質問項目（赤色の項目は4～7ページにその質疑の要約を掲載しています）

山元 孝典	●放課後児童クラブ入所見込みについて	
●寺川台 ●外環状線 八尾地区 ローマ字		●CATV（有線ケーブルTV）の 市内配信導入について
●新橋の仮橋架け替えにともなう諸問題について	●障害者（児）支援費制度及び 障害者施設支援について	
●銭屋		
松下 孝典		
●都市整備について		●多重債務対策について
●市立病院 ●市立病院 ●市立病院	●巡回バスについて	
●市立病院 ●市立病院 ●市立病院		●将来を見通したまちづくりについて
●二輪電動スクーター ●ホイッパー条例 ●市民参加型 自治基本条例 ●市民活動センター ●市民生活部の		
●市民生活部の	●産業振興策について	●魅力あるまちづくりについて
●市民生活部の		
内海 久子 議員		
●男女共同参画社会推進について		
●ブックスタート 子育て支援 ●オンライン ●野崎町 まちづくり	●交通に関する諸問題について	
●ブックスタート 子育て支援 ●オンライン ●野崎町 まちづくり		●教育施設の整備について
●ブックスタート 子育て支援 ●オンライン ●野崎町 まちづくり		
●ブックスタート 子育て支援 ●オンライン ●野崎町 まちづくり		
●ブックスタート 子育て支援 ●オンライン ●野崎町 まちづくり		
●ブックスタート 子育て支援 ●オンライン ●野崎町 まちづくり		